

家畜衛生情報誌

# 『一支国』

2011. 春号



安茂晴 産子3頭

現場後代検定 合同調査会(神戸)  
で最高評価!

老岐振興局農林水産部 老岐家畜保健衛生所

〒811-5734 長崎県老岐市芦辺町国分本村触1385-1 TEL : (0920) 45-3031

E-mail : s13230@pref.nagasaki.lg.jp

FAX : (0920) 45-3386

～Website～

<http://www.n-nourin.jp/ah/agrilink/hukyuu/iki/kakuka/3iseika.html>

# 新年度のご挨拶

吉岐家畜保健衛生所長 山本 和利



3月11日に起きた東日本大震災における2万7千人を超える死者、行方不明者の方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災者の方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早く復興の足音が大きくなることを期待いたします。

県では「ながさき農林業・農山村活性化計画」を策定し、「産業として成り立つ農林業経営」、「快適で住みやすく活力ある農山村」との10年後の農業の目指す姿を示しました。肉用牛関係では放牧の活用や、効率的・省力的な管理を図り粗飼料自給の基盤を充実させ、農業所得600万円以上の経営を目標としており、吉岐地域もこれらを活用し、繁殖雌牛8,000頭の達成を目指します。

全共はいよいよ来年度です。「肉牛の部」の素牛選定も済み、4月には肥育農家へ引き渡されて肥育マニュアルに沿った牛づくりが始まります。種牛の「若雌の部」の対象牛も2月下旬から誕生しています。適正な飼養管理で十分な発育を心がけてください。

口蹄疫に関しては、本年2月に日本は清浄国へと復帰できましたが、韓国では未だに発生が続き、日本への侵入リスクは高いままです。「自分の牛は自分で守る」という危機感を持ち、消毒の徹底をお願いいたします。

家畜の飼養戸数が減少する中、今後も職員一丸となり、生産性の向上、コスト低減及び家畜伝染病等に対するリスク管理の徹底を図り、生産農家の盾となって頑張っていきたいと考えていますので、関係者皆様のご協力をお願いします。

## 平成23年度 転入者の紹介



衛生課長 橋本 哲二

吉岐は2度目、14年ぶりに帰ってきました。口蹄疫や鳥インフルエンザなど家畜衛生として、来年には長崎全共を控え、畜産振興としても重要なこの時期に、有数の畜産地帯であるこの地で勤務できることに、やり甲斐を感じています。微力ではありますが、全てについて迅速、的確な対応ができるよう努めて参りますので、関係の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

～お世話になりました～

中里 敏 → 県北家畜保健衛生所へ



平成22年度現場後代検定  
 合同調査会で**日本一!!**

やすしげはる  
**安茂晴**

「安茂晴」は、全国的に評価の高い「平茂晴」と脂肪交雑育種価が高い母「きみたに」との組み合わせにより、質量兼備を目的として造成された種雄牛です。

現場後代検定では、**平均BMS.No.7.3**、**4~5等級率76.5%**、**ロース芯面積64.7cm<sup>2</sup>**という成績を収めました。また、検定牛4頭を平成22年度現場後代検定合同調査会（注）に出品したところ、3頭が**BMS.No.12**を収め、脂肪交雑の揃い、ロース芯の充実や枝肉のつくりの良さなどで最高の評価を受け、今後は「平茂晴」の後継牛として、本県の肉用牛改良に大きく貢献することが期待されます。

（注）現場後代検定合同調査会...全国和牛登録協会が平成23年2月7~8日、神戸で開催。  
 全国の現場後代検定調査牛を一同に会し、種雄牛の能力を確認するもの。今回は12道県から18セット63頭の調査牛が出品された。



生年月日：平成18年3月5日生  
 生産者：吉岐市勝本町 豊坂 隆雄



母の父：雲仙丸 出荷月齢：28.8ヵ月  
 母の祖父：牛若丸 枝肉重量：592.8kg  
 BMS.No.12  
 ロース芯面積：77cm<sup>2</sup>

現場後代検定成績

	頭数	出荷月齢	枝肉重量	ロース芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラの厚さ (cm)	皮下脂肪の厚さ (cm)	脂肪交雑 BMS. No.	4~5等級率 (%)
去勢	15	28.3	517.4	65.6	8.1	2.9	7.4	80.0
雌	2	27.8	449.6	58.0	7.5	3.4	6.5	50.0
<b>全体</b>	<b>17</b>	<b>28.3</b>	<b>509.4</b>	<b>64.7</b>	<b>8.0</b>	<b>3.0</b>	<b>7.3</b>	<b>76.5</b>
県平均	去勢	28.8	478.5	54.9	7.8	2.6	5.5	57.6
	雌	29.3	431.4	54.8	7.6	3.2	5.2	50.9

県平均：平成22年次長崎県産産子の肥育成績平均値

# 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習

平成23年2月23日、吉岐家畜保健衛生所で高病原性鳥インフルエンザの防疫演習を行いました。参加者は吉岐振興局職員40名、吉岐市職員2名。うち12名が5つの班に分かれ、防護服の着脱、捕鳥、炭酸ガスの注入、袋詰め、トラックへの積み込み、動力噴霧器による消毒や消石灰の散布を実演しました。

捕鳥では本物の鶏とケージを使い、炭酸ガス注入（殺処分）以降の作業には模擬鶏を使用しました。

この演習で、発生時の防疫作業について家保職員だけでなく、動員予定者にも実際の作業を理解してもらえたことと思います。万が一発生があった場合には、迅速な対応を図っていきたいと思います。



防護服の着衣



捕鳥

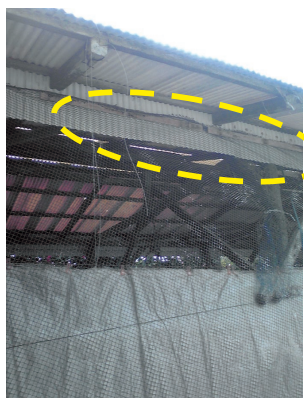


炭酸ガスの注入

# 漁網のリサイクルで野鳥対策

昨年度は高病原性鳥インフルエンザの発生が各地でみられ、長崎県内でも野鳥から強毒型のウイルスが検出されました。予防にはウイルス感染の原因となる野鳥との接触をなくすことが重要で、そのためにも防鳥ネットの整備が必要です。

そこで、吉岐振興局農林水産部水産課の協力を得て、箱崎漁業協同組合から廃棄漁網を無償で譲り受け、防鳥ネットとして活用していますので、1例をご紹介します。元の魚網はかなり大きく、整形が必要でしたが、鶏舎の高さに合わせ、縦5.4m×横50mに調節し、設置しています。



上部に板をはり、野鳥の侵入を防止します



地面までしっかりガード

魚網は丈夫で網の目も細かく、野鳥対策にはちょうど良いものとなっています。今後防鳥ネットとして必要な方がいらっしゃいましたら、家畜保健衛生所（45-3031）までご相談下さい。

# 凍結精液利用ベスト10！

	種雄牛	所有者	利用本数	利用シェア (%)	前年
1	平茂晴	長崎県	4,679	44.7	→ (1位)
2	北平安	ジェネティクス北海道	1,033	9.9	→ (2位)
3	勝乃勝	長崎県	893	8.5	↑ (12位)
4	百合茂	鹿児島県 徳重	756	7.2	↑ (10位)
5	安福久	鹿児島県 徳重	408	3.9	↑ (18位)
6	平忠勝	山形県	389	3.7	↑ (14位)
7	安福勝	家畜改良事業団	365	3.5	↓ (4位)
8	雲仙丸	長崎県	176	1.7	↑ (9位)
9	鉄平	鹿児島県 徳重	168	1.6	↑ (13位)
10	勝忠平	鹿児島県 徳重	162	1.5	↓ (6位)

壱岐地区での利用総本数は10,475本（前年-244本）、うち県有牛は6,107本（58.3%、前年+9.3%）でした。

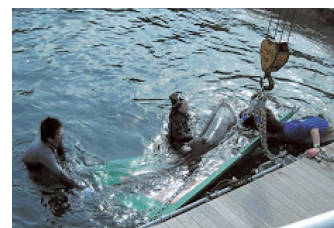
## イルカパークに内視鏡がやってきた！

勝本町のイルカパークではここ数年異物の誤食による事故が続き、予防策を検討していましたが、今回壱岐市民病院から古くなった内視鏡を譲渡してもらい、現在ではイルカの胃内容の確認ができるようになりました。3月16日に実施した第1回目の検査には、パーク職員の他に壱岐家畜診療所、市民病院、イルカの吊り上げ作業には勝本漁協等の協力が得られました。

～担当した先生のお話～

朝からの絶食で胃が縮み、空気を入れる必要がありそうと思っていたが、予想より見やすかった。第一胃、胃壁もきれいで、心配していた食滞はみられなかった。長時間の観察はイルカに負担がかかるため、一部みられなかった部分があったのが残念。検査中は、イルカがおとなしくしてくれていたのが助かった。

今後は年に3～4回検査していきたいが、他の2頭は警戒心が強く、いけすには入ってくれないので、今後どうやって検査を進めていくかが課題だと思う。



ルウ♀（推定26歳）  
検査後はご飯も食べ、  
元気に泳いでいたとの  
ことです。

# 平成22年度 BSE検査結果の報告

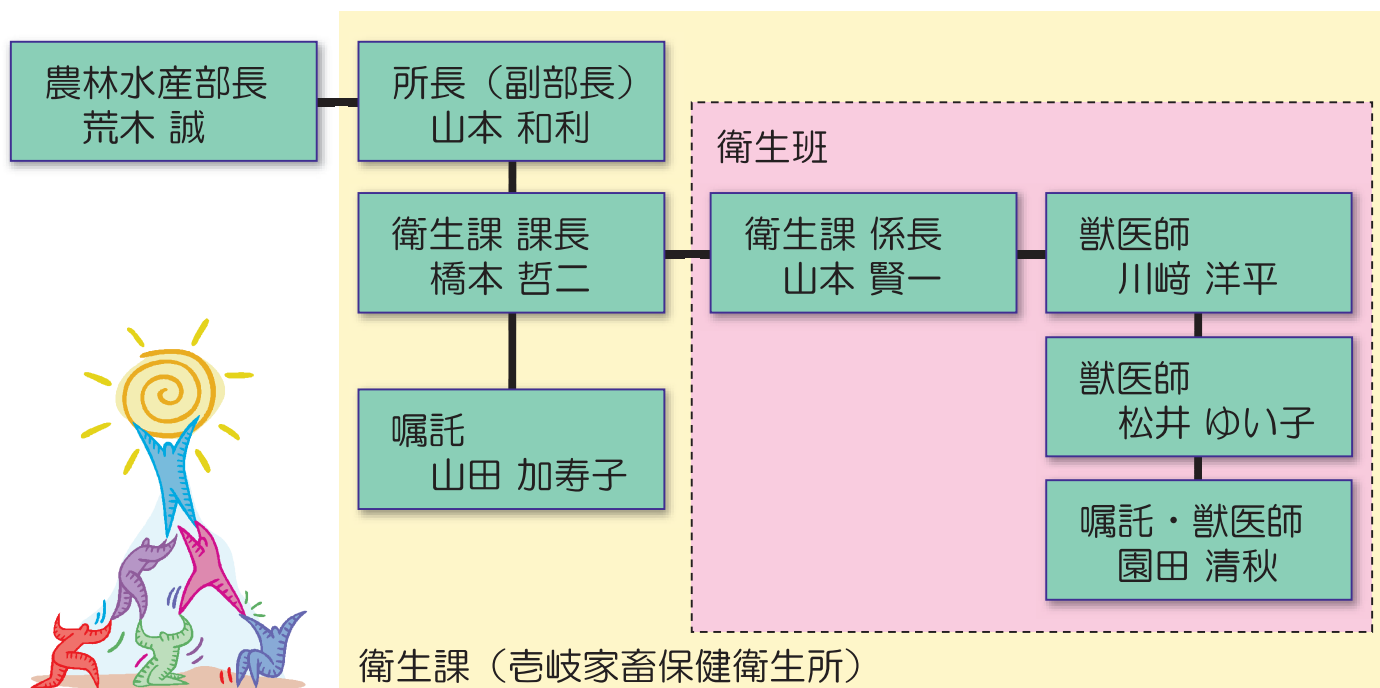
平成22年4月から平成23年3月末までに、管内で118頭の死亡牛の検査を行いました。県全体では1315頭の検査を実施し、全頭陰性でした。成牛の死亡事故が増えています。飼育管理を徹底し、事故の低減に努めましょう！

実施月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H22	4	12	10	11	9	14	7	7	8	15	13	8	118
H21	7	4	4	11	7	6	10	8	8	6	6	11	88



※数字は検査の頭数を示しています。

## 平成23年度 衛生課組織図



### 編集後記

風が心地よい季節になってきました。杵岐に来て2年目になり、業務の大切さを実感しています。これまでに、農家や畜産関係の皆さんをはじめ、色々な方々に出会い、その笑顔に癒されてきました。新年度を迎え、気持ち新たに今後も地域の皆さんが笑顔で過ごせるよう、お手伝いをしていきたいと思っています。本年度もよろしくお願いいたします。